

#美容医療

#再生医療

#脱毛

#AGA

#遺伝子検査

#ED治療

医師のキャリアにおける自由診療

美容への転科？バイト？保険診療と組み合わせ方

美容医療・自由診療ニーズの増加

情報が広がり収集しやすくなった近年、選択肢が増えたため自由診療がより身近になり、利用者や対応する医療機関も増えました。

「美容医療」「自由診療」という言葉自体は「公的医療保険が適応されない診療」を意味しますが、コロナ禍の影響もあり、病の治療ではなくQOLを向上させるための診療のニーズが特に向上しています。美容皮膚科・外科、再生医療、遺伝子検査やAGAなど、日常生活でも目にすることが増えました。



医師のキャリアにおける美容・自由診療

クリニックが増えるということは従事する医師も増えるということであり、業界への需要が高まってきている一つの裏付けです。これまで医師のキャリア選択としては珍しくなくなってきた自由診療。しかし、まだまだ医師のキャリアの選択肢としては一般的ではなく、キャリアにおける自由診療について知られていないことや間違ったイメージも多く存在します。

医師のキャリア形成を専門として転職支援を行っている日本メディカルキャリアでも、医師からの転職相談の際には自由診療についてのご相談を多くいただきます。



自由診療のイメージと実情

ーコミュニケーション能力が高くないと厳しいって本当？

保険診療とは違い、全額自己負担となる美容医療・自由診療。患者様側の負担額が大きいと、「これだけ払っているのだから、その分満足できるものを提供してほしい」という心理が強くなります。

そのため、実際の診療の中身以外にも目が向けられ、サービス業的なホスピタリティを求められる側面があります。

しかし、特別高いコミュニケーション能力が必要ではなく、保険診療と同様に患者様にしっかりと寄り添う診療により患者様からの信頼を得ることを重視できれば問題ありません。



自由診療のイメージと実情

－株式会社が関わってるって聞くけど大丈夫なの？

医療法人が運営しているクリニックも多数ありますが、MS(メディカル・サービス)法人がサポートしているクリニックも近年増加してきています。

もちろん医療法上問題ありませんが、医療法人と違い、MS法人は会社法に基づいて設立された営利目的の法人であるため、採用や業務でのやり取りにおいて「企業色が強い」と感じられることはあるかもしれません。一般の病院クリニックとは採用フローも選考方法も大きく異なるケースが多く見受けられます。



自由診療のイメージと実情

ーノルマや接遇マナーの意識の高さが求められるのでは？

クリニックとして目標を設定している場合もあるようですが、医師個人にノルマが課されるようなことはありません。

美容外科や整形外科の自由診療施術などについては、スキルが求められる業務を一定件数以上をこなすことで、インセンティブとして頑張りが返ってくる制度を取り入れているクリニックもあります。

接遇・マナーについては、保険診療よりも重視される環境です。



自由診療のイメージと実情

—美容医療・自由診療だけの勤務をしていると 保険診療に戻れないって聞くけど...?

結論としては、戻れます。

自由診療の専門チームを形成し、転科・転職支援を行う日本メディカルキャリアの紹介で、実際に保険診療の勤務に戻られた先生も多くいらっしゃいます。ただ、そのようなケースの場合、その前に保険診療メインでの勤務から自由診療へ転科する、という大きな決断をされています。その決断を後悔して「戻りたい」と思われる先生が少ないため、そういった意味では「戻れない」は適切な表現と言えるかもしれません。もちろん一度保険診療を離れてしまうと、既存の学会認定資格継続は難しくなるため、保険診療への従事を再開される際には影響が出る可能性があります。

また、面接先で「どうして自由診療へ行き、どうして保険診療へ戻るのか」については聞かれると思っておいたほうがよいでしょう。こうした点は自由診療に精通したエージェントとの面接対策でクリアできる点ですので、過度に心配する必要はありません。



キャリアの選択肢

自由診療をキャリアの選択肢として考える際の働き方事例

一 自由診療のみ

自由診療の経験を多く積めるため、
スキルが必要な分野への転向を考えておられる先生にはオススメ

一 常勤先で保険診療＋自由診療

保険診療の経験や手技から完全に離れることはないため、今後のキャリアにまだ悩みがありつつも、自由診療の経験もしておきたいという先生にオススメ

一 常勤先で保険診療、アルバイトで自由診療

自由診療に興味はあるけど実際の勤務について何もわからない、知りたいという先生にオススメ（アルバイトに限っては、他の求人と比べて特に給与が高いという傾向はありません）

一 常勤先で自由診療、アルバイトで保険診療

自由診療の経験をたくさん積みたい
でも保険診療の手技も失いたくないという先生にオススメ
例：週3日の自由診療常勤+週2日の保険診療の定期非常勤



迷った時は専門家に相談

近年で急速に成長し、今後もさらなる拡大が見込まれる、美容医療・自由診療業界。

今後キャリアの選択肢のひとつとしても広まっていくと考えられますが、後悔しない選択をするためには、「正しい情報を元に」、そして「その選択で自分のやりたいことが叶うのかどうか」をしっかりと判断する必要があります。

身近な方に具体的な相談がしにくいという方は、自由診療のキャリア支援専任コンサルタントがいる日本メディカルキャリアへぜひお気軽にご相談ください。

美容医療・自由診療の
＼気になるギモンに答える相談会／

お気軽キャリア相談

日本メディカルキャリアとは？

医師のキャリア形成支援を専門に、国会資格キャリアコンサルタント・ファイナンシャルプランニング技能士のダブルライセンス有資格者による業界唯一の医師専門転職エージェントです。

美容医療・自由診療専門チームを編成し、法人との太いパイプが強みのため、一般の転職サイトには出てこない業界情報をご提供しています。

美容医療・自由診療に関するご相談受付中

お気軽キャリア相談

医師専門
キャリア
無料診断

長期にわたり先生の人生に寄り添う支援を企業理念として掲げ、医師のライフパートナーとして、将来的な「転職」「副業」「節税」のご相談実績の豊富なエージェントです。ぜひお気軽にご相談くださいませ。

日本メディカルキャリア 社員一同

